

## 進捗状況の概要

参加大学、自治体、企業等により構成する「いしかわ学生定着推進協議会」（会長：金沢大学長山崎光悦）を立ち上げ、地域定着モデルの構築を開始し、地域創生概論、共創インターンシップ、innova × emotion の3つの教育カリキュラムから構成される「地域思考型教育」の構築を進めた。

また、学生に対し、石川県の魅力を発信するためのウェブサイト（URL：<http://dream.w3.kanazawa-u.ac.jp> 「いしかわには夢がある」）を作成した。

### I. 地域創生概論

ICT教材「いしかわで学ぶ未来可能性（地域創生概論2016）」を製作した。内容については本事業の参加大学、自治体、企業等により構成する「いしかわ学生定着推進協議会」に設置した「地域思考型教育ワーキング・グループ」で意見交換を行い、自治体の要望を反映した教育内容とした。

本ICT教材は「総論」、「石川県の自然・文化・歴史」、「石川の産業」、「石川の産業に新風を！」の4章で構成しており、学生に金沢・加賀・能登といった石川県の魅力を理解してもらうための、これまでになかったカリキュラムを構築した。

インターネットによるMOOCを活用することで、参加大学の全学生が同じ講座を受講し、等しく地域理解を深めることが可能となる環境を構築できた。

### II. 共創インターンシップ

学生のライフキャリアデザインを明確にさせ、地域定着への意識を高めるためのキャリアデザインを考えるワーキング冊子を開発した。

石川県にゆかりのある人物の仕事への情熱、価値観などについてのインタビューを掲載し、働き方を含めたライフスタイルの多様性を学生に示し、自らのライフキャリアデザインを自学自習により考える機会を促す教材を開発することができた。

このことにより、学生は自分の価値観を明確にし、地域でのインターンシップに主体的な気持ちで臨むことが期待できる。

また、学生の石川定着に資するインターンシップ・プログラムの開発により、学生への地域教育をより実践的な場面で実施する環境を整えることができた。これまでの企業インターンシップとは異なる、「地域」定着の側面の強いインターンシップ導入プログラム「I LOVE いしかわ学生創出会議」を開発し、学生にとっては生活と仕事を結びつけたかたちでの新たな選択肢が生まれた。（右図ポスター）

### III. innova × emotion

金沢大学、金沢工業大学、石川県を中心に、起業の場の構築に向けたプロジェクトチームを設置し、検討を行った。プロジェクトチームにより、創業支援プログラムの構築を進め、委託先企業とともに開発を行った。開発したプログラムは、座学だけでなく、実際に起業体験をすることで、学生が起業に「踏み出す」ことに重点を置いたプログラムとなっている。これにより、起業マインドの醸成を図るとともに、地域資源の活用や地域課題の解決といった、本プログラムならではの成果が期待できる。



(実施ポスター)

(COC+大学名 :金沢大学, 事業名 :金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材養成)